

シリーズ
認定看護師のご紹介
第7回 乳がん看護認定看護師

当院で活躍する認定看護師をご紹介します。

乳がんは、日本人女性において最も多いがんで、9人に1人がかかるとされる、とても身近ながんです。治療は進行度やタイプによって異なり、同じ乳がんという病名でも治療が患者さんごとに違います。当院



では患者さんが看護師と個別に相談できる体制をとり、心のケア、治療における意思決定のサポートをしています。また乳がん治療に関連した、乳房再建、妊孕性温存治療、遺伝性乳がんに対する治療といった、高い専門性を有した診療科が揃っており、協力しながら患者さんの診療にあたっています。乳がん治療は、手術での入院以外は通院治療が中心です。地域の皆様と連携しながら、患者さんが生活と治療を両立できるよう支援していきたいと思ひます。



乳がん看護認定看護師
樋口 信子

新メンバー紹介

2022年8月に入職した新メンバーをご紹介します。

患者さん・ご家族に丁寧な対応を心がけます。早く皆様のおかになれるよう努めますので、よろしくお願ひいたします。



入院支援室
長澤 枝映里 (ながさわ しえり)

迅速かつ丁寧な対応を心がけて頑張ります。スムーズなやり取りができるよう努めたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



地域連携室
伊藤 涼夏 (いとう すずか)

医療連携支援センター 問合せ内容別連絡先



外来受診予約
診療情報提供依頼
返書管理

転院受入

退院支援
社会福祉相談

受診案内
セカンドオピニオン

地域連携室
03-5803-4655

入院支援室
03-5803-4506

医療福祉支援室
03-3813-6111
(代)

患者相談室
03-3813-6111
(代)

医療
連携だより

東京医科歯科大学病院の理念と基本方針
●理念：世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸福に貢献する
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 人々の信頼に応える社会に開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655
(地域連携室) 医科 FAX: 03-5803-0119
予約専用FAX: 03-5803-0285



センター長のご挨拶



東京医科歯科大学病院
医療連携支援センター長
(病院長補佐)
井津井 康浩
(いつい やすひろ)

早いもので東京医科歯科大学病院となって1年が経ちました。連携医療機関の皆様のおかげで、医系診療部門、歯系診療部門が順調に稼働しております。医科と歯科による新しいトータル・ヘルスケアを提供できるよう引き続き精進してまいります。

来春には機能強化棟が完成する予定で、これを機に、高度な先進医療、災害や救急時に機動力を発揮できる新時代の病院として、さらに成長していきたいと考えております。機能強化棟完成後も病院の工事が続き、ご来院の皆様にはもうしばらくご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力の程、お願いいたします。

新型コロナウイルス感染症も一段落しておりますが、冬に向かって、第8波の到来や季節性インフルエンザの流行なども懸念されます。当院は、引き続き感染対策に万全を期して、安心・安全な医療を社会に提供できるように心がけてまいります。



医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談

TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 医系診療部門新設診療科ご紹介
臨床腫瘍科
再建形成外科
- 医系診療部門新設専門外来ご紹介
プレコンケア(PCC) 外来
- 歯系診療部門ご紹介
先端歯科診療センター
歯科総合診療科、第1・第2診療室
- 歯科予約番号のご紹介
- 認定看護師のご紹介
- 新メンバーのご紹介
- 医療連携支援センター問合せ内容別連絡先

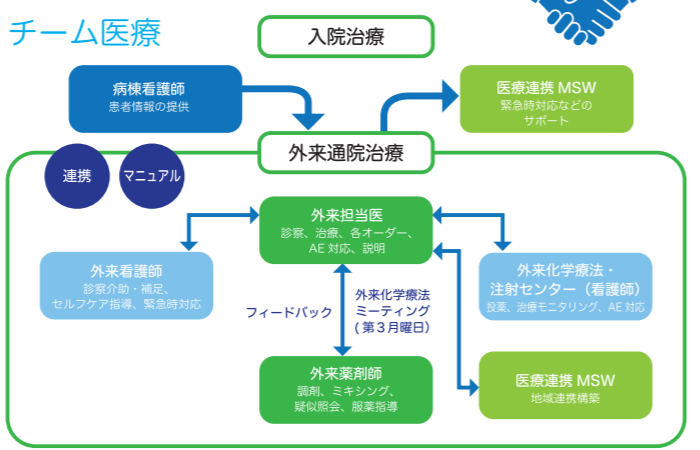


NEW! 医系診療部門新設診療科ご紹介

臨床腫瘍科 科長：末永 光邦 取り扱うおもな疾患：大腸がん、胃がん、頭頸部がん、希少がんなど

臨床腫瘍科は2022年4月にスタートし、4大がん治療のうち、薬物療法（化学療法）と免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤）を担当します。がんの診断の時期、進行病期（ステージ）、進行状態などは患者さんごとに異なるため、外科手術や放射線治療の適応があれば、これらを組み合わせた集学的治療を提案するのも当科の役割です。

そのため、患者さんごとに他科と連携して最適な治療方針を提供しています。薬物療法に関しては日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医（腫瘍内科医）を中心に治療方針決定から臨床実地まで行い、専門性の高い医療を提供しています。臨床腫瘍科はがんゲノム診療科と緩和ケア科と連携しています。がんの標準療法が効かなくなった場合でも患者さんの状態が安定していれば、がんゲノム診療科で遺伝子パネル検査を行い、新薬・治験などの治療選択肢がないか模索する体制が整っています。一方、がんに伴う症状の緩和については緩和ケア科と医療連携支援センターのサポートのもと、患者さん・ご家族のQOLを高められるように心がけています。



再建形成外科 科長：田中 顕太郎 取り扱うおもな疾患：頭頸部頭蓋底再建手術、術後顔貌変形に対する二次修正手術、顔面神経麻痺に対する集学的治療、頭頸部領域の皮膚悪性腫瘍、その他各種再建手術など

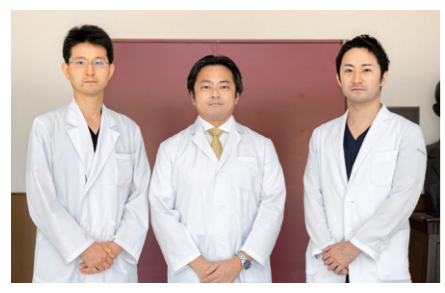
2022年6月からスタートした再建形成外科はマイクロサージャリー（顕微鏡を用いて細い血管や神経をつなぐ技術）を用いる組織移植手術を日常的に多く行う高い技術を持っています。頭頸部を中心に、治療が困難な再建手術を必要とする患者さんの治療に積極的に取り組み、身体各部位の機能と形態の再建を目指します。形成外科という診療科は対象とする疾患や部位、治療法が多岐にわたります。なかでも癌の切除などによって失われた身体の

組織を修復し機能と整容性を取り戻す治療を再建手術と言います。当院で特に多く行われる頭頸部領域の再建手術を専門に行う診療科として、形成・美容外科から独立しました。

当科は典型的な切除症例に対する標準的な頭頸部再建手術を行うことは当然ですが、他の施設では治療が不可能な困難症例に対しても安全で質の高い再建手術を提供することができます。

さらに腫瘍切除と同時に行う一次再建だけでなく、手術後に残存する変形や麻痺に対する二次再建手術にも積極的に取り組んでいます。また頭頸部領域のみならず身体各部位の治療困難症例の再建手術にも積極的に対応しています。

同じ疾患や病態であっても適切な治療は患者さんそれぞれで異なります。十分にお話を聞きながら、それぞれの方に最適な治療方法を選択していきます。



NEW! 医系診療部門新設専門外来ご紹介

プレコンケア (PCC) 外来 担当医師：不殿 絢子、羅 ことい

産婦人科では、妊娠を希望するすべての方を対象にした専門外来である「プレコンケア (PCC) 外来」を2022年8月にオープンしました。妊娠に関する高度な情報提供を希望される方はもちろん、持病をお持ちの方や高年妊娠、難治性不妊症まで幅広く相談に対応しております。「プレコンケア (PCC) 外来」の名前は、「プレ (Pre)」「前に」、「前もって」という英語に、「コンセプション (Conception)」「受胎」、「お腹の中に新しい命を授かること」、「ケア (Care)」「手入れ」、「管理」を組み合わせ作り、ニックネームのように親しみやすく、呼びやすい「プレコンケア (PCC: ピー・シー・シー) 外来」と名付けました。「持病があって自分の身体について色々聞きたい」、「今飲んでいる薬は大丈夫?」、「なかなか妊娠しない…」、「妊娠前の身体づくりに関して確かな情報が欲しい…」上記はほんの一例ですが、「プレコンケア (PCC) 外来」は、持病がある方、妊娠しにくい方、妊娠に不安や悩みを抱えている全ての方が、将来の妊娠のために、必要な健康状態のチェック、日々の生活に対するアドバイスなど、妊娠前の身体づくりに必要な正しい情報をご提供します。当院の「プレコンケア (PCC) 外来」には以

下のような特徴があります。

特徴1 産婦人科を基盤としたプレコンセプションケアであり、現在の身体の状況や、幅広い合併症が妊娠および次世代に及ぼす影響を総合的に判断し、個々にフォーカスしたオーダーメイドのプレコンセプションケアに力を入れております。

特徴2 妊娠前に知っておくべきワクチンや感染症の情報、自身の栄養や血圧・体重・生活習慣管理に関する確かな情報提供を行っております。

特徴3 合併症妊娠、難治性不妊症、超高年妊娠、がん生殖などに対する高度な医療を提供できる一方、その詳細な保健指導、および情報提供が可能です。

特徴4 合併症をお持ちの方はプレコンセプションケア外来受診後に、当院で治療を継続しながら妊娠・分娩計画を行うことにより、シームレスな連携が可能となります。



歯系診療部門ご紹介

歯系診療部門の特色あるセンターと診療科をご紹介します。

先端歯科診療センター

先端診療センターはそれぞれの得意分野を持つ専門医集団がお一人おひとりの患者さんに対して包括的にアプローチし、それぞれの分野でハイレベルの歯科治療を集約して提供することを目指して2015年10月に設立されました。複数の専門診療科の担当医が協議の上、患者さんのご要望に合わせ、お口のバランスを考慮した治療計画を作成し、快適性・効率性を重視した先進的な診療を提供します。



先端歯科診療センターの特徴

1. 初診、再診を問わず、患者さんのご希望に合わせて受診可能
2. 完全予約制でプライバシーと感染対策に配慮された半個室の診療スペース
3. 痛みや不快感を最小限に抑えた歯科診療
4. 歯科・口腔領域の専門家による丁寧なカウンセリング
5. 先進機器を用いた世界最高レベルの診療
6. 自由診療による「保険診療の枠組みにとらわれない」診療



先端歯科診療センターの治療内容

各分野のハイレベルな専門医が連携し、センター内で治療を完結^(※)させます。 ※特殊な場合は除く

審美歯冠修復治療	低侵襲性修復治療
口腔ケア	限局矯正治療
子どもの歯の外傷や異常の治療	オーラルリハビリテーション
デジタルデンティストリー	インプラント治療
アタッチメント治療	金属床義歯
歯周組織再生治療	レーザー治療
歯のホワイトニング治療	コーンビームCTや実体顕微鏡などによる歯内治療

歯科総合診療科

当院歯系診療部門は20以上の診療科で構成されています。どの診療科に紹介したらよいか判断が難しい場合は歯科総合診療科にご紹介ください。初診患者さんとの医療面接、全身評価と歯科の検査から、初期診断し、各専門外来の予診担当医と連携し、スムーズに担当科を決定します。歯科ドックではPCR細菌検査や3Dスキャナを利用した先端的検診を実施しています。また、当院は歯科医師の教育機関でもあり、歯科総合診療科は学生・研修医の臨床教育を総括しています。歯科医師を育成するための臨床教育にご協力いただける基礎疾患をお持ちでない患者さんがいらっしゃいましたら、是非当科にご紹介ください。当科より学生・研修医の所属する第1・第2総合診療室にご紹介いたします。

【第1総合診療室】
歯学科5年生・6年生が患者さんの担当となり、一口腔単位での診療計画を立て、保存・補綴・口腔外科からなる一般歯科診療を、指導歯科医の指導のもとに行います。

【第2総合診療室】
研修歯科医・後期研修歯科医が患者さんの担当医となり、一口腔単位での診療計画を立て、保存・補綴・口腔外科からなる一般歯科診療を、指導歯科医の指導のもとに行います。



歯科予約番号のご紹介

先端歯科診療センター・歯科総合診療科

03-5803-4300 平日 12:00~16:00

その他の診療科

各診療科により、初診予約番号が異なります。QRコードよりご確認くださいませようお願いします。